

●▲ みねのぶ

10月号



稲刈り作業
(森川雅夫さん圃場、美唄市峰延町
峰樺3区、9月10日)



大豆刈り作業
(石黒園芸さん圃場、美唄市光珠内町
下中の沢、9月12日)

■発行日/令和4年10月1日/No.1446号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

**J A み ね の ぶ × コ ー プ さ っ ぽ ろ
トウモロコシ収穫体験**

8月25日、コープさっぽろ組合員活動部の皆さんが美唄市峰延町峰樺3区の八田重忠さんの圃場でトウモロコシの収穫体験を行いました。

生産者との交流を目的にコープさっぽろと当JAの合同で行われ、当日は21人が参加しました。

収穫に先立って、八田さんがトウモロコシ畑でもぎ方や収穫適期のトウモロコシの見分け方などを説明しました。圃場には「プレミアム味来」と「恵味ゴールド」の2品種が植えられていて、参加者達は決められた量のトウモロコシ



トウモロコシの収穫を楽しむ参加者

を念入りに選びながら収穫を楽しんでいました。

参加者の中には品種の違いについてや、オススメの茹で方について質問する方もいました。



品種の見分け方を説明する八田重忠さん(左)

適期収穫で水稲品質保つ

8月29日から当JAの農産物検査事務所で水稲の刈り取り適期判定を始めました。早刈り、刈り遅れによる品質の低下を防ぐことを目的に行いました。

生産者が稲のサンプルを持参し、JA担当職員が整粒率や着色などを目視で確認し収穫適期を判定し

ました。

当管内では9月10日から刈り取りが始まり、15日ごろに最盛期を迎えました。登熟期の天候が安定したことにより、乳白粒の発生が少ない傾向。草丈が平年より10センチ以上長く、台風の影響等により一部で倒伏被害が発生しました。

営農販売課の奥山職員は「水稲の成育は圃場によって異なるため、それぞれの圃場に見合った収穫適期を予測し、より良い品質で出荷できるように喚起していきたい」と話しました。

今年の水稲作付面積は1979畝、このうち主食用米作付面積は1122畝。主食用米の生産量は6319トを見込んでいます。



水稲の刈り取り適期を確認する奥山職員(左)と城山展彰さん(右)

美唄市長が土生米圃場視察

8月23日、板東美唄市長が美唄市光珠内町の石川弘樹さんの土生米の圃場を視察に訪れました。今年の農作物の作柄を把握し、今後の生産などに必要な対策の検討を行うことを目的に行われました。

この日、坂東市長一行は、美唄市内にある6カ所の圃場の視察の一環として当地を訪れました。今年のドジョウの放流日や生育状況などを営農販売課の奥山職員が説明しました。

板東市長は「各圃場を巡回し順調に生育していることを確認した。豊作傾向になりそうだ」などと話しました。



奥山職員(右)から説明を受ける坂東市長(左手前)



最新ドローンの新機能などを学ぶ参加者

農作業の省力化へ

最新ドローン実演会

峰延先進農業研究会は9月1日、農業用ドローンの新型機を用いた実演会を開き、同会の会員やJA職員ら約20人が参加しました。

実演会は、美唄市峰延町の圃場でDJI社製の「AGRAS T30」と「AGRAS T10」の機体を使って行いました。

「AGRAS T30」は30以上の液剤タンクを搭載し最大9畳の散布幅を活かすことで、一度の飛行(約15分)で2畝の散布が可能。

「AGRAS T10」は、コン

パクトなサイズが魅力。持ち運びに便利で、バッテリーの充電も早いことから、効率的な散布が可能。圃場の形に合わせて外周を自動で一周する「額縁散布モード」が追加された他、粒剤散布についても速度に連動した散布が可能になりました。

メーカー担当者から、各種機体について操作方法が説明された後、農業に見立てた水をドローンが散布する様子を見学。飛行の際の各種申請方法や安全に飛行するための機能等も学びました。

参加者からは「省力化に繋げるためにも導入を検討していきたい」と期待の声が上がっていました。

管内トップで大豆収穫

まずまずの出来

当JA管内では9月12日から大豆の収穫作業が始まりました。管内でトップを切ったのは美唄市光珠内町下中の沢の「有限会社石黒園芸」代表、石黒明広さん。432㍎に「ユキホマレ」を栽培。5月10日に播種し、昨年より5日早く収穫作業を始めました。

石黒さんは「圃場の様子をよく観察し、害虫対策としてこまめに防除をするように心がけた。まず

まずの出来」と話しました。

収穫した大豆は当JAの調製施設に運ばれ、調製後10月上旬から検査員の資格を持つJA職員が検査を行い、決められたサンプル数を抽出し、色や形、病害虫など被害粒の有無などを丁寧に分析します。

当JA管内では9月下旬から本格的な大豆の収穫を行っています。今年の大豆作付面積は、「ユキホマレ」を中心に小粒大豆の「ユキシズカ」など合計5品種で約540畝。約1500トの収穫を見込んでいます。



管内トップを切って大豆を収穫する石黒さん

9月臨時理事会の開催について

9月1日開催の臨時理事会において次の事項が協議されました。

◇協議事項◇

- 1. 令和4年産米に係るJA共計概算金単価の設定について

第8回(9月定例)理事会の開催について

開催について

9月26日開催の理事会において次の事項が決議されました。

◇決議事項◇

- 1. 諸規定の一部変更等について

おくやみ申し上げます

田中 光輝さん (81歳) 8月28日

美唄市峰延町公園

矢部 邦男さん (81歳) 9月16日

美唄市字峰延1875番地

【電話番号】

◆玄米ばら集出荷調製施設◆
(臨) ☎0126-62-0162
(臨) FAX0126-62-0163

◆JA 営農販売課◆
☎0126-67-2334

10月の農協常会は農繁期のため休会します

玄米ばら集出荷調製施設で

新米搬入始まる

JA管内の稲刈り作業は早い方で9月10日頃から始まり、玄米ばら集出荷調製施設は前年より4日遅い9月14日から受入れを始めました。

施設の搬入一番乗りは、4つのピット毎に美唄市光珠内北の大槻和洋さん、岩見沢市峰延町の渡辺慶太郎さん（経営主：渡辺雅実さん）、美唄市光珠中央の株式会社社沼南ファームさん、美唄市光珠内北の大槻貞幸さんの4人で、各ピットの一番乗りの皆さんに対し



て、伊藤組合長から記念品が贈呈されました。

緑陵高生に規格外野菜を提供

カレーライスで

食品ロス削減目指す

9月16日、当JA管内で収穫した規格外のタマネギ20キ、ジャガイモ8キ、ニンジン3.5キ、米30キを岩見沢緑陵高校3年生6人に提供しました。事業統括室の小田統括が同高校を訪れ、高校生に手渡しました。

同校の情報コミュニケーション科の授業の一環で、当JAが提供した農産物を使った「手づくりカレー」を作製。9月18日に行われたいわみざわ情熱フェスティバルで約150食を販売しました。

同日、みねのぶの女性農業者グループ「峰千加」のハスカップジャムを使った「バイオレットサイダー」も販売し、限定50杯が開始約1時間で完売。大好評となりました。

同学科では、高校生自身が様々な分野の課題を発見し、それらを解決するプロジェクトに取り組む「課題研究」という授業があります。コロナ禍で食品ロスが増えたことに着目し、規格外野菜の廃棄

を無くすことを目指して行われました。

9月16日に行った米の試験炊きの際には、三ツ星お米マイスターの資格を持つ、営農販売課の佐藤課長補佐が高校生に炊飯のポイントについて説明しました。

リーダーの中田亜衣奈さんは「活動を通して、食品ロスに対する問題を多くの人に知ってもらえて良かった。今後、個人としても食品ロスの問題解決に貢献していきたい」と話していました。



炊飯のポイントを教える佐藤課長補佐(右)



情熱フェスティバルでの販売の様子



情熱フェスティバルで掲示するポスターを持つ高校生たち

タマネギ選別作業で

障がい者雇用

岩見沢市峰延町でタマネギを5
51㍗作付けする白石陽一さんは、
障害のある人が農業の現場で働く
「農福連携」に取り組んでいる。

農繁期の労働力確保と障がい者
の就労支援が目的。

障がい者雇用を始めて今年で13
年目。タマネギの選別作業や袋詰
め作業を障がい者が担っています。

同選果場で勤務して5年目にな
る鈴木さんは「始めはキズを見分
けるのに苦戦した」と話していま
した。

白石さんは障がい者を雇用する
上で「それぞれの個性に合った作
業内容を探している。障がい者施



真剣に袋詰め作業に取り組む鈴木さん

設の先生との連携が重要」と話し
ていました

取り組みを通じて農業と福祉の
課題解決に繋がっています。

酒米「^{すいせい}彗星」刈り取り始まる

9月26日、美唄市光珠内町の浅
香邦彦さんの圃場で、当JAの純
米大吟醸「一圓融合」の原料とな
る酒米が収穫されました。

5月2日に播種し、昨年より5
日遅く収穫を始めました。今年の
作付面積は80㍗で、約4トンの収
穫を見込んでいます。

収穫した米は当JAの施設で調
製後、栗山町の酒造会社「小林酒
造」で醸造され、2023年6月
頃に販売される予定です。

徳 報

家康の遺訓と
一家永安法

ある時、尊徳翁は多田弥次右衛
門（伊豆菰山の商人）に対して、

次のように話された。

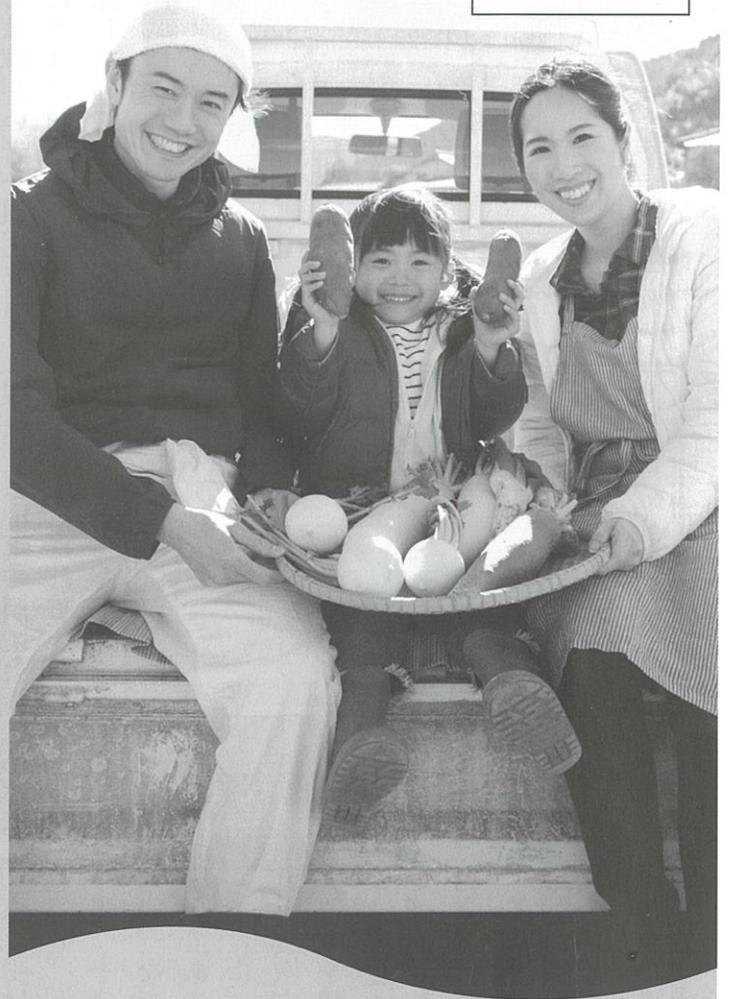
私は、東照神君の御遺訓と言わ
れるものを見たことがある。そこ
には「私は、生まれた時から敵に
囲まれていて、只々父祖の敵を討
つことだけを願いとして生きてき
ていた。しかし、祐普和尚（東京
増上寺の開祖）の教えの中から、
国を安定させ、国民を貧困から救
うことが領主の役目であり、それ
が領主のこの世における天理であ
ることを知ってからは、それを実
現することを主眼として努力を続
けて、今日に至っている。私の子
孫は、この私の理念を志として、
永く受け継いでいかなければなら
ない。もし、その事にそむくなら
ば、その者は私の子孫とは認めな
い。なぜならば、国民は、国のも
とであるからである。」と記され
ていた。

弥次右衛門さんが、今この様な
遺訓を残すとすれば、それは次の
ように書くべきである。「私は、
御吹直し新金銀引替御用の職を家
業として務めてきて、多大の利益
を得てきたが、それに慣れて増長
し、贅沢な生活をしてしまったた
めに、いつのまにか大きな借財を
作り、結果として御用の元である

金銀を使い込んだことと同じにな
ってしまった。まさに、事業も一
家も破産に瀕したときに、報徳の
善法によって莫大な支援を受けて、
無事に危機を乗り切ることができ、
このように事業と一家の繁栄を続
ける事が出来ている。この恩に報
いるには、子孫代々に亘って、贅
沢な生活や安閑とした態度での生
活を厳しく禁じ、もっぱら節約、
儉約に努めて、収益や財産の半分
程度を蓄積に回し、まずは世の中
の利益を図ることを第一とし、貧
しい人を助け、世間を富ますこと
に結び付く事業を行うべきである。
もし、このために背く者が居れば、
子孫といえども、子孫とは認めな
いので速やかに一家から放逐する
こと。同じような婿や嫁は、直ち
に離縁し戻すこと。」

弥次右衛門さんが、我が家の財
産のすべては報徳仕法の恩恵によ
るものである、と子孫に言い伝え
れば、東照神君の御遺訓と同じに
なつて、孝も忠も行われ、仁も義
も行われる。子孫が徳川氏の二代、
三代將軍と同じくそれを守り続け
れば、事業も一家も繁栄を続ける
事が出来る。よく考えてみること
である。

（夜二三）



終身年金で
安心!

知って得する 農業者年金

農業者の方は、国民年金の上乗せの
公的な年金「農業者年金」に加入して
安心して豊かな老後を!

ポイント

1

農業者なら誰でも入れる「終身年金」です!

ポイント

2

一定の要件を満たす方には、
月額最大1万円の保険料の国庫補助

ポイント

3

保険料は全額社会保険料控除の対象
など、生涯を通じて大きな節税効果!

詳しくは…

<https://www.nounen.go.jp>



ポイント

1の説明

農業者なら誰でも入れる「終身年金」です！

●年間60日以上農業に従事している、国民年金の第1号被保険者(保険料免除者を除く。)である20歳以上60歳未満の方又は60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入者が加入できます。

- 高齢農家世帯の家計費は、月額約22万円というデータがあります。
国民年金の支給額は、最大で一人あたり月約6万5千円。これを夫婦でもらっても毎月約10万円の赤字ですので、国民年金の上乗せ年金として農業者年金に加入しましょう。
- 農業者年金は、積立方式・確定拠出型で少子高齢時代に強い。
- 農業者年金は、経営状況や老後の生活設計に応じて、保険料を加入後いつでも月2万円(35歳未満で政策支援加入の対象とならない方は1万円)～6万7千円の範囲で、千円単位で変更でき、年払いもできます。また、途中で脱退・再加入もできます。なお、脱退した場合、払った保険料は年金を受給するまで運用し続け、加入期間に関わらず、年金として受給できます。(脱退一時金はありません。)

試算表 農業者年金に加入すれば～ 農業者年金の受給額の試算

加入年齢	納付期間	保険料額	保険料納付総額	年金額(年額)		想定される受給総額	
				男性	女性	男性	女性
20歳	40年	1万円	780万円	58万円	49万円	1,243万円	1,315万円
		2万円	960万円	76万円	64万円	1,635万円	1,730万円
30歳	30年	1万円	660万円	45万円	38万円	968万円	1,024万円
		2万円	720万円	50万円	43万円	1,085万円	1,148万円
40歳	20年	2万円	480万円	30万円	25万円	642万円	680万円
50歳	10年	2万円	240万円	13万円	11万円	286万円	303万円

※上のケースは、通常加入で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.30%となった場合の試算です。受給総額は65歳の時点で想定される平均余命を考慮し、男性86.5歳、女性92歳まで生存した場合の金額です。
 ※運用利回りは、加入後の経済変動により上下します。制度発足以降の19年間(令和2年度まで)の運用利回りの平均は、年率2.97%です。
 ※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、令和4年度は0.30%となっています。
 ※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。
 ※保険料額1万円のケースについては、35歳未満は保険料月額1万円で加入し、35歳以降は月額2万円で加入した場合です。

死亡一時金もあり安心

80歳前に死亡した場合には、80歳までに受け取る農業者老齢年金の現在価値相当額を一時金として遺族が受け取れます。 ※加入期間等により保険料の払込額を下回る場合があります。

ポイント

2の説明

一定の要件を満たす方には、 保険料の国庫補助があります。

認定農業者又は認定就農者で青色申告の方や、その方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など、一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助(月額2万円の保険料のうち最高1万円、通算で最大216万円)があります。

この国庫補助は、経営継承など一定の要件を満たせば、将来特例付加年金として受給できます。また、経営継承の時期についての年齢制限はなく、事情に応じて受給の時期を決められます。

ポイント

3の説明

生涯を通じて税制面で大きな優遇措置があります。

- 支払った保険料は、同一生計の家族の分も含めて全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・個人住民税・復興特別所得税が節税になります。(支払った保険料の15%～30%程度が節税)。
- 保険料の運用益が非課税
- 将来受け取る農業者年金には公的年金等控除が適用されます。
- 死亡一時金は非課税です。

事務経費は国が負担しているため、払った保険料の全額が運用されます。

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人 農業者年金基金

専門相談員 企画調整室
 TEL: 03-3502-3199 TEL: 03-3502-3942

JAグループ通信 62



各団体の詳しい取り組み内容についてはWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



◆SAPPORO COLLECTIONに出店!!

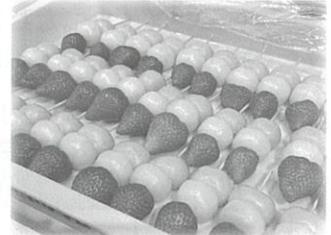


5月29日に開催された札幌コレクション(サツコレ)にJAグループ北海道のブースを出店し、若年層に対する北海道産のお米と砂糖の消費拡大などのPRを行いました。

当日は、北海道米LOVE又は、本会のInstagramをフォローして頂いた方に、道産食材を使用した限定ガールズ小結(おむすび)2個セット100個、限定苺団子300個をプレゼントし、多くの若者に足を運んでいただけました。

砂糖の消費拡大・イメージアップに向けた「天下糖プロジェクト」のブースでは、OKASHI GAKUとのコラボで缶入りケーキ「ふわ缶〜ピンク〜」を特別価格で販売し、150個完売となる大盛況ぶりでした。

今後も北海道の食と農への理解を促し、サポーターづくりを進めるとともに、若年層への情報発信も強化してまいります。



JA北海道信連



◆人事交流

JAとJA北海道信連との間で相互に職員を派出させる「人事交流」をH22年度から実施しています。コロナ禍で中断していましたが、2年ぶりに再開し、今回は「JAそらち南」との人事交流です。この取り組みを通じ、JAバンク北海道の体制・機能強化と人材育成を図ってまいります。

◆よりぞうクラブ北海道

全道150名様に当たる「特産品カタログ」などのお得な情報を配信中! 「友だち登録」をお待ちしています!



JAバンク北海道公式LINEアカウントできました。

よりぞうクラブ
北海道



友だち登録は
こちらから!



JA共済連北海道



◆3台の救急車を寄贈

本年も地域社会貢献活動の一環として、道内各市町村の消防本部に救急車を寄贈しています。

今年度は、滝川消防署・弟子屈消防署・稚内消防署に計3台を寄贈しました。

今年度の救急車を含めると、寄贈台数は累計で215台となりました。

今後も行政とJAとの連携を図りながら、組合員ならびに地域住民に安全・安心を提供し続けるよう努力してまいります。



(写真は、昨年度実績です)

ホクレン



◆北海道米の消費拡大イベントを開催

7月2日(土)に札幌ドームで行われた北海道日本ハムファイターズVSオリックスバファローズ戦に合わせて「北海道米ななつぼしの日記念ホクレン北海道農業応援DAY」を開催しました。

当日は、北海道米の消費拡大に向け「記念ブース」と「日本酒試飲ブース」を設置し、来場者へサンプル配布やInstagramのプレゼントキャンペーンなどを展開しました。



JA北海道厚生連



◆札幌厚生病院で癒しの空間を提供

札幌厚生病院の本館入口に「タリーズコーヒー」がオープンしました。帯広厚生病院に次ぐ2店舗目となります。

5月10日のオープン当初より多くの患者様などにほっとできる癒しの空間としてご利用いただいています。

札幌厚生病院にお越しの際は、おいしいコーヒーでリフレッシュしてみませんか?

今後も地域の皆様に愛される取り組みを行ってまいります。

